



日本人の死後世界観・犯罪被害遺族と司法

健康開発学科 健康行動科学専攻（健康情報学専攻 2025年4月より）

白岩 祐子 准教授

【研究分野】 社会心理学、死生学、被害者学
 【キーワード】 死別・信仰、被害者法制・効果検証・交通事犯の撲滅
 【URL】 <https://yukoshiraiwa-rana.jimdo.com/>



研究概要

犯罪被害者という「心のケア」が注目されがちですが、多くの被害者やご遺族は**刑事司法**（捜査や裁判など）に強い関心と利害を有しています。そのため日本では2000年以降、複数の被害者法制が制定されてきました。それらの司法制度について行動科学の観点から**効果検証**を行ったり、**交通事犯**を根絶するための政策を提言したりしています。

また、被害者遺族との交流をきっかけに死別に関心を抱くようになりました。ここ数年は**日本人の死後世界観**をテーマとして、その構造や社会的な機能を明らかにするための研究（実験や調査など）を進めています。

研究紹介

1. 被害者のための司法制度

- 1) 「被害者対策要綱」の効果検証：警察による配慮・情報提供・公正な捜査
- 2) 「被害者参加制度」の効果検証：事件について知る権利
- 3) 交通事犯を根絶するために：人ではなく環境（道路・自動車など）に働きかける政策

2. 死別と他界・信仰

- 1) 日本人の死後世界観：その構造と社会的な機能
- 2) 死をめぐる所作（形見への愛着、解剖の拒否、死者の理想化）
- 3) 超自然的存在が利他的行動（寄付・援助など）に及ぼす影響

講座テーマ紹介

1. 犯罪政策・政策一般

- ・犯罪被害者のための刑事司法：これまでの遺族の歩み・制度の意義と課題
- ・本気で考える「交通事犯ゼロへの一歩」：行動科学からのアプローチ
- ・ナッジ・行動インサイト：人間の実態をふまえた政策デザイン

2. 死別と他界・信仰

- ・「故人は見守ってくれている」：ご先祖様信仰からみる日本人の死後世界観
- ・なぜ死者を批判してはいけないのか：5つの仮説と実証 など

アピールポイントなど

- ・警察庁 犯罪被害類型別調査 企画分析会議 委員
- ・東京大学 死生学・応用倫理センター 運営委員
- ・環境省 日本版ナッジ・ユニット連絡会議 有識者委員
- ・公益財団法人 犯罪被害救援基金 理事などを歴任